

新型コロナウイルス流行中の食品小売業部門における 労働者及び消費者のための予防措置に関する共同宣言

このところ、新型コロナウイルスの大流行により、何百万人という人々の私生活、家庭、仕事が激変している。

今般、世界保健機関（WHO）は、新型コロナウイルスをパンデミック（感染の世界的大流行）と正式に発表した。感染者数の飛躍的な増加を受けて、世界は、前例のない健康と経済の緊急事態に直面している。

UNIと本宣言の付属文書に記載された食品小売業加盟組織は、この部門の従業員こそ、この世界的なパンデミックの影響を直接受けており、経済においてのみならず、秩序ある組織、更には社会の存続においてさえも、非常に重要な役割を果たしていることを認識している。この例外的な状況に対応するには、使用者、労働者、組合のこれまで以上の協力が不可欠であることを誰もが認識している。

本宣言に署名した企業は、新型コロナウイルス関連のリスクを管理するために、現時点で導入されるべき措置について、UNIと議論するものとする。本当事者は、この期間中、進展について互いに情報提供するものとする。

更に、ステークホルダー、組合及び企業は、感染リスクを防止、削減、または除去するために、本部門または他部門の企業の優良事例に基づいた、実践的または特別な措置の導入を検討することに合意する。

UNIと署名企業は、この期間中、食品小売業が必要不可欠なサービスであり、サービスの提供を継続するには従業員の保護が最優先事項であることを認識する。

対策は、以下の分野を含むだろう。

- 安全衛生に関する各国の規制の改善
- 店舗の衛生規則
- 従業員への社会的支援
- 特別な状態にある従業員（障がいのある労働者、妊婦等）への支援

多国籍食品小売企業、本宣言の当事者及び UNI 世界商業部会とその加盟組織は、協力して優良事例を共有し、労働組合がない、または弱い国における食品小売企業とも協力していくことを約束する。安全問題が生じた場合は、UNI は署名企業に通知する。